

# 八王子駅ビル そごう跡

## 「百貨店誘致は困難」 後継は専門店街想定

来年1月末に閉店する、JR八王子駅ビルのそごう八王子店。発表から7カ月が過ぎたが、撤退した後のビルで何を展開するかについては明確な方針が決まらないままだ。八王子商工会議所の田辺隆一郎会頭は朝日新聞のインタビュに「百貨店の誘致は難しい」と発言。大型量販店が中心となる専門店街を想定していると述べた。

### 田辺隆一郎・商工会議所会頭に聞く

田辺氏によると、八王子を継ぐのが望ましいと考え、高島屋と大丸松坂屋に出



来年1月末の閉店が決まっているそごう八王子店。八王子市旭町



### 主な一問一答

そごう跡地への取り組みは

高島屋には「立川を閉めて八王子に来ませんか」と申し上げた。3万2千平方メートルの面積は魅力に感じてもらえたが、高島屋も大丸松坂屋も結果的に難しかった。百貨店が無理なら専門店を中心とした駅ビルになる。街の顔にふさわしいものにすべきです。

具体的には？

3万2千平方メートルの面積を埋めるのは、JRといえども至難の業だろう。大型専門店が入ったとして、それでも空いたスペースをどう使うのか。そこにポイントを置く。必ずしも物販だけではない、その他の施設も考えられる。

八王子から百貨店が相次いで撤退した要因は何でしょうか

かつては繊維、織物の基幹産業があつて人と物の往来が多く、人口も増えた。今は交通網の整備やモータリゼーションが進み、東京の西の端という地

### 八王子の百貨店

JR八王子駅周辺には他に伊勢丹、大丸、西武、丸井の大手百貨店が進出していたが、04年までにいずれも撤退。跡地は現在、マンションやパチンコ店などになっている。83年に開店し

たそごうは駅ビルという好立地と、3万2千平方メートルという広い売り場面積で最後まで残ったが、今年2月、親会社のセブン&アイ・ホールディングスが「都市間の競争が激しく、赤字を改善できなかった」として閉店を発表した。

店を打診した。しかし、高島屋はすでに立川駅前に出店し、大丸はかつて八王子から撤退した経緯もあつて、いずれも色よい返事は得られなかったとい

田辺氏は後継テナントについて「専門店街といつても、かなり大型の店舗が入

らないと埋まらない。物販だけで埋まらないスペースをどう使うかで、新たな駅ビルの姿も変わる」と話した。

今後、駅ビルを運営するJR東京西駅ビル開発などに対して要望をまとめて伝えるという。

(波戸健一)

## 自然取り入れ「散歩の街」に

理的に不利な要素が影響している。立川の優位性はモノレールができたこと。多摩地域の課題だった南北交通を整備し、南武線や青梅線を含めて便利になった。その差が出ている。それと、辛口に言えば、八王子は街づくりが遅れた。八王子駅はJRと京王線を地下で結ぶとか、機能性を高めてこなかった。南口は整備されたが、北口はバスに乗る人や京王線に乗り換える人にとって非常に不親切。ペデストリアンデッキ（歩行者用通路）の整備も必要だ。

中心市街地ににぎわいを戻す方策はありますか？

八王子の豊かな自然を市街地に入れるべきだと思う。ユニークに街を発展させた吉祥寺や自由が丘は街歩きが楽しい。歩いていけば飲食もするし、商店にも入ってみようかとなる。八王子も、街中に緑や花を増やし、買い物物の街から「散歩の街」へコンセプトを変える必要がある。